

中学生の「税についての作文」

福岡県納税貯蓄組合連合会 会長賞

税金を知ること

大木町立大木中学校

三年 古賀拓海

テレビで時折取り上げられる「滞納者」。差し押さえされてまでも税金を納めないのはなぜか。それは税金について知らず、自分のお金を持つていかれる、という見方をしているからではないかと思えます。その考えを持ったのは、デンマークの税金と国民について知ったことがきっかけでした。デンマークが「高福祉・高負担」で「国民の幸福度ランキング」世界一位であることは有名です。高負担であるにも関わらず国民が幸福だと感じているのは、国民が税金の仕組みや使い道をよく知り、恩恵を享受し、それを実感できているからだと思えます。

以前、海外の生活を紹介する番組で、「税金が高いことを不満に思わないのはなぜか」という問いに対してデンマーク人の女性が、「きちんと高福祉を受けているのを実感して満足しているから」と答えているのを見ました。どんなに税金が高くても、なぜ高いのか、自分たちにはどんなメリットが

あるのかをきちんと知っているから、国民は何の不満もなく税金を納め、そして幸せを感じているのです。

「税金は嫌だ」「これ以上増税するなんてとんでもない」という人も多い日本の消費税八パーセントは、世界的に見れば低い方です。このような日本で、「高福祉・高負担」を取り入れるべきだとは思いません。日本の福祉制度も、良い方だと思えます。ただそんな日本の中で税金に対して批判的な意見が出るのは、先にも述べたように、税金のことを知らず、また、税金の恩恵を意識できていないからだと思えます。

お金のことを心配せずに救急車や消防車を呼べる。舗装された安全な道を通って通勤・通学ができる。ごみのない綺麗な街で生活できる……。そんな「当たり前」だけど「幸せ」な日々を作ってくれているのが税金だということを知って感謝すれば、「お金を持つていかれる」などというマイナスなイメージはなくなるはずです。そして日本が、デンマークのような幸福度の高い国に近づく一歩になるでしょう。

生まれてから今まで、税金の恩恵を全く受けず、そしてこれからも税金に支えられることなく生活する人は一人もいません。僕たちの暮らしを作り、支えてくれる税金を身近に感じるために、「よく分からないから」と避けるのではなく、誰もが関心を持つて自分からよく知ることがまず大切なのだと思います。

今はあまり納税を意識することなく生活している僕も、数年すれば納税者になります。今以上に税金について学び理解を深めて、感謝しながら納税できる大人になりたいです。